

東京23区が
見える。わかる。

2021 AUTUMN

Vol.46

ワンツースリー One23

公益財団法人特別区協議会 特別区自治情報・交流センター発行の東京23区情報誌

特集

東京23区で楽しむ、 スポーツ!

■東京23区で楽しむ、スポーツ!

墨田区…総合体育館
江東区…スポーツ会館
品川区…総合体育館
目黒区…中央体育館
大田区…総合体育館
世田谷区…総合運動場

■クマなくさんぽ

…地球環境問題やSDGsに
興味と関心を持つ機会に
板橋区 熱帯環境植物館(ねったいかん)

■所蔵資料蔵出し

…「特別区はこれでよいのか」



もっと活用しよう!

特別区自治情報

こんなことしたよ

江東区魅力紹介展示

魅力発信!スポーツと人情があつまち、「江東区」

東京区政会館1階エントランスホールにおいて、公益財団法人特別区協議会と江東区との共催によるパネル展示「魅力発信!スポーツと人情があつまち、「江東区」」を令和3年7月15日(木)から9月6日(月)まで開催しました。

展示では写真で見る江東区内各所の昔と今、区とゆかりのある人物、水辺のレジャースポットやイベント、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会会場となった臨海部などを紹介しました。

江東区の新しい魅力を発信していただくきっかけとなる展示となりました。

また、展示内容を当協議会ホームページで紹介する予定ですので、ぜひご覧下さい。



展示会場の様子

こんなことやるよ

「茨城ふるさとフェア」

茨城県の多彩な魅力の発信と茨城県と東京23区との交流を目的として、茨城県18自治体と茨城県のアンテナショップ「イバラキセンス」が outlets、茨城県の特産品や物産品の販売、観光情報などのPRを行うイベントを開催します。

日時: 令和3年10月28日(木) 11:00 ~ 15:00(荒天中止)

場所: 東京区政会館(千代田区飯田橋3-5-1)前オープンスペース

主催: (公財)特別区協議会 茨城県

後援: 千代田区

※開催に当たっては、新型コロナウイルス感染症対策を実施のうえ行います。

来場される皆様においてもご協力をお願いします。

また、新型コロナウイルス感染症の状況によっては、急遽、中止等の場合もありますので、当協議会のホームページ等でご確認ください。

(出展予定団体)

水戸市、古河市、常陸太田市、北茨城市、笠間市、ひたちなか市、潮来市、那珂市、筑西市、坂東市、かすみがうら市、桜川市、鉾田市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、八千代町、茨城県アンテナショップ「イバラキセンス」



2019年の茨城ふるさとフェアの様子

・交流センター

特別区自治情報・交流センターとは？

23区(特別区)と地方自治の専門図書館として約10万冊の資料を所蔵しています。特別区や地方自治について知りたい、調べたいときなどにご利用ください。

所蔵資料
蔵出し

おすすめのほんだよ

当センターの資料から読み解いてみよう！



▶▶ 特別区はこれでよいのか

昭和32(1957)年発行

今回は、東京都政調査会(シンクタンク。1982年解散)発行の「特別区はこれでよいのか」を紹介します。

本書が発行された当時、東京都と特別区の間で問題になっていたのが、特別区の性格を「自治区」とすべきか「行政区」とすべきかという点です。区民の生活と権利に直接かわる大切な問題にもかかわらず、政治への関心が薄い区民には都区の縄張り争いのように捉えられていました。

そこで、この印象を避けるべく世論喚起のために特別区と協力したのが、多くの学識者が参画する財団法人であった東京都政調査会です。世論の支持なくして根本的な問題解決を図ることはできないことから、東京都政調査会は本書を作成して特別区の自治権確立の意味や現状の問題点を誰にでも分かるようにアピールしました。



〈表紙〉



〈目次〉

— なぜ「特別区」とよぶのか —

昭和22(1947)年の地方自治法制定により、特別区が「基礎的な自治体」として誕生した意味をわかりやすく解説している点が特徴的です。

『特別区という制度は戦後の新しい地方自治法による産物である。正確にいうと昭和二十二年五月にできた。その前は区であつても特別区ではない。』、『特別の二字には非常に重要な意味がある。いわば古い区役所とまったく性質の違った自治団体として生まれ変わった意味がそこには表現されているのだ。』としています。

「特別区」という名称については、『新しくできた区は、住民の負担と意思で管理される自治団体なのである。だがよその市とは少し違う。しかし住民自治という点ではむかしの区とは一そう違う。そこで特別区という名称が用いられたのである。』と述べられています。

— 特別区の自治確立のために —

本書が作成された当時、中央集権化の流れによって特別区の事業は極度に制限され、地域の住民に直結した行政は都の出先機関に分散されていました。このような特別区の制度と現状について、本書では、都と区はどちらも「区民の便利と区民の権利のために」これを改めようとしているけれど、特別区を行政区としたい都と、自治権拡充を目指す特別区では考えがまったく逆であると指摘しています。そのうえで、特別区制度の改革には、区長公選制の復活、特別区を制限自治区とすること、住民に密着する事務を都から区へ移譲すること、事務移譲に見合う合理的な財源配分の4つが必要であると述べられています。

普段とは違う視点から見た23区、
知ればもっと面白い！

コマなく さんぽ



板橋区

地球環境問題やSDGsに 興味と関心を持つ機会に 「熱帯環境植物館(ねったいかん)」

日本と関係の深い東南アジアの熱帯雨林を再現した熱帯環境植物館は、水族館と4つの植生ゾーンからなる施設です。熱帯や地球環境をテーマにさまざまな企画展示やイベントも行っており、熱帯の環境を楽しみながら学ぶことができます。

熱帯環境再現施設にリニューアル

1979年に開館し、温室植物園として運営していた同館は、1994年老朽化を機に熱帯雨林の再現をコンセプトとした植物園としてリニューアルオープンしました。

当時、熱帯産木材の最大の輸入国であった日本の現状と照らし合わせて、日本から一番近い熱帯林である「東南アジアの熱帯林」を再現することで、地球環境保全について考える施設を目指しています。

楽しみながら学ぶ博物館型植物館

マレーシアを中心とした東南アジアの海から高山帯へ続く一連の熱帯環境を、「ミニ水族館」、「潮間帯植生」、「熱帯低地林」、「集落景観」、「雲霧林(冷室)」の5つのゾーンで紹介しています。

ミニ水族館には、東南アジアを中心とした海水・汽水・淡水の魚や生物の約150種2500匹を展示。池水槽では、日本で唯一ここだけで見られるという、世界最大の淡水エイ「ヒマンチュラチャオプラヤ」が飼育されています。

水族館以外のゾーンでは、東南アジアの熱帯雨林を代表する樹木のフタバガキ類やマングローブ植物、食用や薬用、香料に利用する植物、食虫植物といったさまざまな植物、さらにはニッパヤシの葉で屋根を葺いた「マレーハウス」などを見ることができます。

環境問題への興味を深める場に

環境問題に興味を持ってもらえるように、子ども達にも分かりやすい展示となっています。屋内でありながら滝や大きなエイの展示など見どころも多く、ガイドボランティアによる「館内ガイドツアー※」や、魚が食事をする様子を観察できる「水族館のごはんの時間※」といったイベントも毎週末開催され、幼児から高齢者まで幅広い層に利用されています。館内はバリアフリーで、車いすやベビーカーも利用でき、今年度からは「赤ちゃんの駅(授乳室)」が開設され、さらに利用しやすい施設になっています。

ねったいかんは、今後環境について学べる施設として、SDGsについても発信していきます。

※コロナウイルス感染症拡大防止のため、2021年9月時点で中止となっています。



「熱帯低地林」の目玉展示は、母樹を絞め殺して伸びる「アコウの木」



地下1階の「ミニ水族館」



「マレーハウス」のある「集落景観」



熱帯雨林の破壊と修復などを常設展示



館内ガイド「水族館のごはんの時間」

年間を通してさまざまな企画展示を行っています。

- アマゾン展 10月19日～11月14日
 - クリスマス展 12月7日～12月26日
 - らん・ラン・蘭展 1月4日～1月16日
- (展示内容に変更がある場合があります。)

熱帯環境植物館(ねったいかん)

所在地 板橋区高島平8-29-2
開館時間 10:00～18:00(入館は17:30まで)
休園日 月曜日(祝日・休日の場合は、翌日)、年末年始
入館料 大人:260円、小・中学生:130円、未就学児:無料
アクセス 都営三田線高島平駅より徒歩約7分
お問合わせ 03-5920-1131



東京23区で楽しむ、スポーツ！

東京23区のスポーツ施設を特集！
今回は計6区をピックアップします！

新型コロナウイルス感染症対策のため、臨時休館や設備が利用できなくなる場合があります。
開館時間等は各施設ホームページ等をご確認ください。

墨田区



子どもから高齢者まで年間60～70万人が利用

錦糸町駅から徒歩4分とアクセス抜群の立地を誇り、子どもから高齢者まで幅広い世代が利用できるスポーツ施設です。地上5階建ての施設内には、プールやトレーニング室、大空間のアリーナや武道場、フットサルなどが楽しめる屋上エリアなど、全館まるごとスポーツを楽しむ環境が整っています。また、墨田区をホームタウンとするフットサルリーグやバレーボールリーグのチームのホーム会場となっており、国内トップクラスの大会の開催により、質の高いプレーを観ることが出来ます。



トレーニング室はフリーウェイトエリア、有酸素マシンの充実度が高く、平日・土日祝問わず多くの利用者が賑わっています。鏡付きのスタジオで毎日開催しているヨガやZUMBA、シェイプパンパといった初心者も気軽に参加できる多彩なレッスンプログラムや、水泳教室、ゴルフスクールなども好評です。

総合体育館	
所在地	墨田区錦糸4-15-1 錦糸公園内
開館時間	8:30～23:00(利用時間は9:00～22:30)
休館日	毎月第3曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/30から1/2)、メンテナンス休館(毎年11月中旬4日程)
利用料金	メインアリーナ・プール・トレーニング室 各2時間550円など
アクセス	JR総武線錦糸町駅より徒歩4分
お問い合わせ	03-3623-7273



江東区



充実した施設を備え、区民のニーズに応える

区民大会のメイン会場であり、江東区のスポーツ文化の拠点となっている「江東区スポーツ会館」は、江東区で初めての総合区民体育館として、1975年10月に開館しました。区内スポーツ施設でも随一を誇るフリーウエイトを中心としたトレーニング室、大体育室、小体育室、武道場、スポーツサウナ室、屋内プールなどを備えた、区内で最も充実した施設です。初級障がい者スポーツ指導員養成講習会を開催するなど、障がい者スポーツの普及啓発・人材育成にも力を入れています。



シニアや一般向けから、女性対象、子どもや親子向けなど、地域の特性を生かした教室事業を数多く実施。シニアの健康維持・増進をサポートする「シニア体操」、脳を活性化させるリズム体操「脳トレエクササイズ」、産後のママ向けの「ママヨガ」など、楽しみながら体を動かすプログラムが充実しています。

スポーツ会館	
所在地	江東区北砂1-2-9
開館時間	8:30～22:00
休館日	第2・第4月曜日 (祝日の場合は、その翌日)
利用料金	体育室等・トレーニング室個人利用 午前・午後・夜間(各1区分)一般400円ほか
アクセス	都営新宿線住吉駅より徒歩12分
お問い合わせ	03-3649-1701



品川区



最新の設備が揃う、区民のためのスポーツ施設

平成29年度に床の張り替えと修繕を行った競技場のほか、年間約68,000人が利用する日野学園温水プール、武道場、卓球・レクリエーション室、トレーニング室などが揃う「品川区立総合体育館」。フリー利用の種目が、バスケットボールやバレーボールといった一般的なスポーツから、卓球、社交ダンスなど高齢者でも楽しめるものまであるため、幅広い層が利用しています。区民のニーズなどを的確に捉え、利用者目線で改善を継続していき、誰もが安全安心に利用できる施設を目指しています。



個人で参加でき自主的にプレーを楽しめるフリー利用と、硬式テニスの初心者教室が特に人気です。フリー利用は、希望すればフットポイントレッスンを受けることもできます。大崎副都心というビジネスエリアが多い立地のため、勤務終了後に総合体育館周辺でジョギングする人を支援する更衣室の開放も好評です。

総合体育館	
所在地	品川区東五反田2-11-2
開館時間	9:00～21:30
休館日	第3月曜日(祝日の場合は翌日)
利用料金	フリー利用(区内在住、在勤、在学の方対象) 大人(高校生以上)200円ほか
アクセス	JR山手線・りんかい線大崎駅より徒歩8分
お問い合わせ	03-3449-4400



目黒区



バリアフリー化でより使いやすく快適な施設に

エレベーターや多目的トイレの各階設置といったバリアフリー化を図り、令和2年にリニューアルオープン。競技場に隣接する5階建ての施設には、弓道場、格技場のほか、都内でも珍しいエアライフル場などを備えています。風による競技への影響を最小限にする床輻射式冷暖房や、弓道場の射座の床暖房設置などにより、さらに快適な施設になりました。東京2020オリンピック・パラリンピックの「テコンドー」競技の公式練習会場にもなり、今後はスポーツ・レクリエーションに親みることができる目黒区の拠点施設として活用していきます。



有酸素系や筋力系など約20種のマシンが揃うトレーニング室は、幅広い層に人気です。高齢者向けの「健康体操系」や女性に人気の「ヨガ・ピラティス」、子どもから大人まで対象の「フットサル」、「武道系の教室」、可視光線銃で的を狙う「ビームライフル」など多彩なプログラムを提供しています。

中央体育館	
所在地	目黒区目黒本町5-22-8
開館時間	9:00～22:00
休館日	12/28から1/4
利用料金	大人300円 中学生以下・65歳以上・障がい者:150円ほか
アクセス	東急目黒線西小山駅より徒歩6分
お問い合わせ	03-3714-9591



大田区



区民がスポーツをして観て楽しむ機会を提供

「するスポーツ」と「みるスポーツ」の両方を提供することで、スポーツに親しみむきっかけとなるような施設を目指しています。メインアリーナには約4,000人収容の観客席があり、Bリーグ・Vリーグ・Tリーグのホームゲームやプロレス興行、ボクシング世界タイトル戦など、各競技のプロの試合、トップレベルの大会を多数開催しています。観客席には車いす席10席があり、エレベーターや優先トイレ、キッズルームを設置するなど、ユニバーサルデザインにも配慮した施設となっています。



メインアリーナの個人開放(有料300円)が人気で、普段プロレベルのアスリートが試合をしているコートを利用し、バスケットボールやバドミントン、卓球などを気軽に楽しむことができます。また、ヨガ、ダンス、太極拳、キッズチア、フットサル、よちよち体操など、週に約100本開催している有料教室も人気です。

総合体育館	
所在地	大田区東蒲田1-11-1
開館時間	9:00～21:00
休館日	不定期
利用料金	スポーツ教室 当日参加コース 1,100円ほか
アクセス	京急線梅屋敷駅より徒歩5分
お問い合わせ	03-5480-6688



世田谷区



緑豊かな公園内にさまざまな競技施設が揃う

砧公園に隣接した大蔵運動公園内にある、自然に囲まれた施設です。様々な種目が実施できる拠点施設として、障害のあるなしに関わらず、子どもから高齢者まで気軽にスポーツを楽しんでいます。2019年に陸上競技場の観覧席がリニューアルし、ユニバーサルデザインを取り入れた施設となり、2500名収容の観覧席や屋内ウォーミングアップ場、大会などで使用できるようになりました。多くのひとが利用する、地域に根付いたスポーツ施設を目指しています。



トレーニングルームや温水プールは、利用料金が比較的安価のため区民をはじめ多くの人が利用しています。暗闇のフィットネススタジオに照明を入れて行うランボリンエクササイズ「UBOUND」や、水に浮かべたエクササイズボードの上で体幹トレーニングを行う「poolno」など、フィットネスルームやプールを利用した多彩なプログラムが人気です。

総合運動場	
所在地	世田谷区大蔵4-6-1
開館時間	9:00～21:00
休館日	施設、利用時間帯、曜日等により異なる
利用料金	トレーニングルーム及び温水プール 大人1時間260円ほか
アクセス	小田急線成城学園前駅よりバス10分 区立総合運動場下車
お問い合わせ	03-3417-4276 03-3417-0017(温水プール)



特別区自治情報・交流センターからのご案内

特別区自治情報・交流センターのご利用について

- 〒102-0072 千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館4階
- 開館時間:9:30～20:30(土曜日は9:30～17:00)、休館日:日曜日、祝日、年末年始等
- ※特別区自治情報・交流センターでは、開館日や開館時間が変更になる場合がありますので、ご利用にあたっては、(公財)特別区協議会ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

(公財)特別区協議会ホームページ

<https://www.tokyo-23city.or.jp/>

特別区自治情報・交流センターホームページ

<https://ilisod004.apsel.jp/tokyo-23city/>

特別区自治情報・交流センター Twitter公式アカウント

@tokubetsukuma23

東京区政会館1階展示スペース

東京区政会館1階エントランスホールで各種展示を行っています。どなたでも自由にご覧いただけますが、開催期間・時間が変更になる場合もあります。ホームページ等でご確認のうえ、ご来館ください。

開催時間 平日|9:00～20:30 土曜日|9:00～17:00 日曜日・祝日|休館

東京都公文書館紹介展示

「庁舎の歴史～新宿庁舎開庁30周年記念展示」(開催中)

主催 東京都公文書館、(公財)特別区協議会

期間 令和3年9月10日(金)～11月1日(月)

特別区全国連携プロジェクト 令和3年第2回全国連携展示

主催 特別区長会、(公財)特別区協議会

期間 令和3年11月16日(火)～12月23日(木)



ホームページ・公式ツイッターのご紹介

【特別区自治情報・交流センターホームページ】

特別区自治情報・交流センターでは、主に特別区の行政資料や地方自治に関する図書や雑誌、東京大都市地域の歴史的資料を「10万冊以上」所蔵しており、ホームページで蔵書検索が可能です。

臨時休館や開館時間の変更などお知らせしています。



【公式ツイッター】

令和3年1月、特別区制度改革20周年を記念して、特別区自治情報・交流センターの公式ツイッターを開設しました。特別区自治情報・交流センターに所蔵されている資料や各区の有償刊行物の紹介、特別区の自治に関する情報などを「とくべつクマ®」が発信しています。



特別区自治情報・交流センター(4階) 休館のお知らせ

下記の期間は休館とさせていただきます。休館中は資料の貸出予約と返却を中止いたします。ご不便をおかけしますが、利用者の皆様には、ご理解のほどお願い申し上げます。

休館期間

蔵書点検に伴う休館 令和3年12月13日(月)～19日(日)

年末年始休館 令和3年12月29日(水)～令和4年1月3日(月)

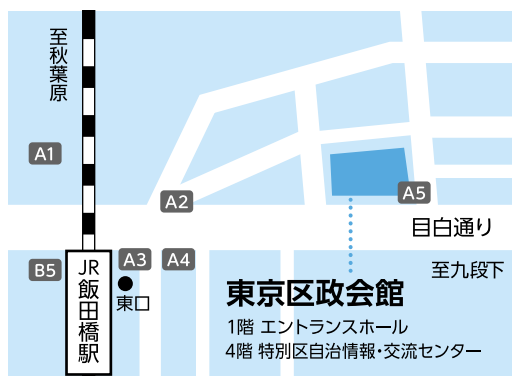
※令和3年12月28日(火)は、年末最終日のため、17時閉館とさせていただきます。

編集後記

現在、特集記事では「東京で楽しむ、スポーツ!」をテーマに東京23区のスポーツ施設を紹介しています。全4回の2回目になります。利用にあたっては事前に各施設のホームページ等でご確認ください。

(K、K&H)

特別区自治情報・交流センター



東京メトロ 東西線 飯田橋駅 A5出口すぐ
東京メトロ 有楽町線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
東京メトロ 南北線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
都営地下鉄 大江戸線 飯田橋駅 A2出口徒歩2分
JR中央・総武線 飯田橋駅 東口徒歩5分